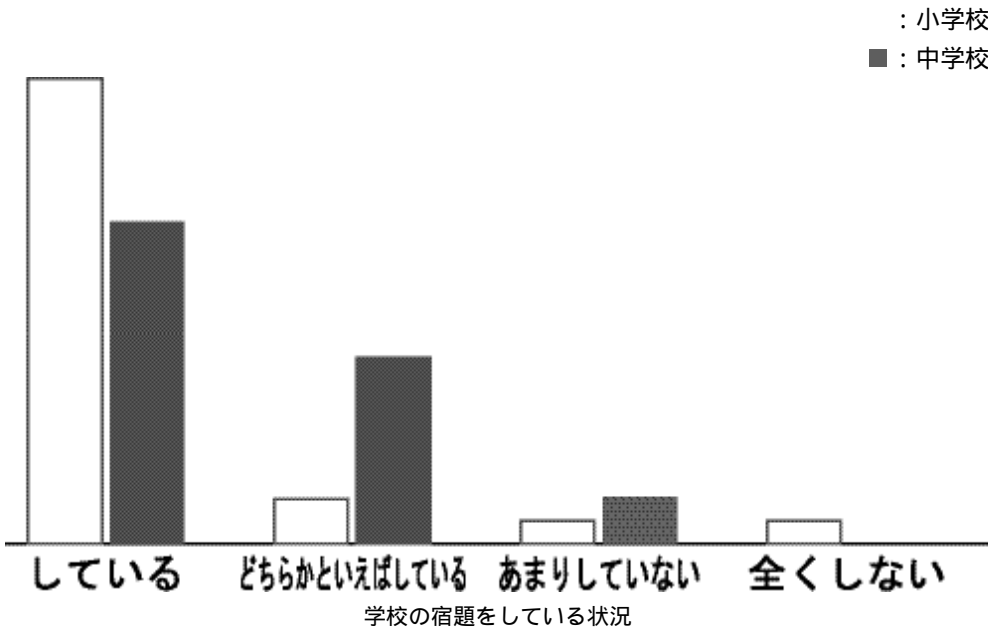


## 毎日の家庭学習を習慣づけて

小学生の家庭学習は宿題が中心で、中学生は、宿題とともに、予習・復習に取り組んでいます。学校の勉強は、日々新しい内容を学習します。毎日一定時間は、机に向かって学習する習慣をつけましょう。



## 読書を通して読解力を育てよう

今回は、小中学校とも資料やデータの読み取り、分かったことに基づいて意見を書く問題がたくさんありました。例えば、小学校国語で次のような問題がありました。

### 【問題】

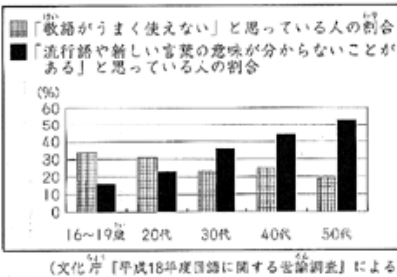
高田さんは、次の【資料】を基に、【言葉の使い方】についての報告文章を書くことにしました。そこで、【資料】から分かったことをメモにとりました。アの書き方のように、イの□の中に入るふさわしい言葉を、書き出しに続けて書きましょう。

### 【メモの一部】

ア「敬語がうまく使えない」と思っている人の割合は、十六歳から十九歳までが最も高く、年齢が上がると減っていくが見られる。

イ「流行語や新しい言葉の意味が分からないことがある」と思っている人の割合は、□

### 【資料】言葉づかいで困っていること



この問題では、問題文の「読み取る力」の差が結果に出ていました。現在の社会では、情報を的確に読み取り判断する力や根拠に基づいて意見を述べる力が求められています。日野町の子どもたちは「読書が好き」(小学校64%、中学校71%)です。これは、小学校の「朝の全校一斉読書」や町図書館を中心に小学校低学年から取り組んでいる「ブックトーク」がよい影響をもたらしていると思われる。読書によって読解力がつくことはもちろん、情景や行間のイメージを想像する豊かな心や表現力が育ちます。小学校で取り組んでいる「ノーテレビデー」「ノーテレビタイム」を、家族みんなの「読書タイム」に発展させていきましょう。

## 豊かな心を育て、多様な見方・考え方を

生活習慣の意識調査の中で、日野町の子どもたちは、「夕食を家族と共にする」「学校での出来事を話す」「家の手伝いをする」「近所の人に会ったらあいさつをする」「人の気持ちが高かる人間になりたい」などが高い割合を示しています。

培った体験を基に、根気強く最後までやり遂げる力を学習やいろいろな活動の中で生かし達成感や充実感を感じています。

一方、地域行事の参加、地域の歴史や自然への関心の割合は低くなっています。私たちが大人が地域（ふるさと）の良さを伝え子どもと一緒に活動しましょう。



## 日野町の今後の取り組み

現在、日野町では黒坂小学校と根雨小学校が4年生の力又1教室、5年生の林間学校、6年生の修学旅行など、事前学習を含めて交流学习を行っているほか、地域の人たちとの交流活動を取り入れた学習も行っています。

また、ブリッジスクールとして中学校の先生が小学校に出向いて指導しています。

平成21年度からは、子どもたちの「確かな学力・生きる力」の育成のために、教科学

習の中で合同学習や少人数指導・TT指導（共同・複数教員による授業）、地域の支援活動を取り入れながら、個に応じた学習や小学校合同学習、中学校交流活動を充実し、「心豊かにたくましく羽ばたく日野の子の育成」を目標に、小学校入学から中学校卒業までの9年間を通して小中一貫教育を推進していきます。「ご理解、ご支援をお願いします」。